インフルエンザワクチン（皮下注射）接種説明書

インフルエンザワクチン（皮下注射）の接種を実施するにあたり、接種を受けられる方の健康状態を把握する必要があります。そのため、予診票に詳細をご記入の上、医師の診察をお受けください。なお、接種要注意者に該当される方は、接種当日までに予めスタッフにご相談ください。また、お子さまの場合、健康状態をよく把握している保護者の方がご記入ください。

＜ワクチンの効果と副反応＞

本ワクチン接種によって、インフルエンザウイルスの表面抗原であるヘムアグルチニンに対する抗体が産生され、インフルエンザウイルスの防御抗体として働くことで、インフルエンザの予防が期待できます。一方、本ワクチンの接種に伴う副反応として、接種部位の発赤・疼痛、発熱、頭痛、倦怠感などがみられることがあります。非常にまれですが、重い副反応としてショック、アナフィラキシー、急性散在性脳脊髄炎、脳炎・脳症、脊髄炎、視神経炎、ギラン・バレー症候群、けいれん、肝機能障害、黄疸、喘息発作、血小板減少性紫斑病、血管炎、間質性肺炎、皮膚粘膜症候群、急性汎発性発疹性膿疱症、ネフローゼ症候群などが報告されています。なお、副反応による健康被害が生じた場合の救済については、健康被害を受けた方または家族が「独立行政法人医薬品医療機器総合機構法」に基づいて手続きを行うことになります。詳しくは独立行政法人医薬品医療機器総合機構のホームページ（https://www.pmda.go.jp）をご覧ください。

＜予防接種を受けることができない方＞

1） 明らかに発熱している方（体温 37.5℃以上）
2） 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
3） 本ワクチンに含まれている成分によってアナフィラキシーを呈したことが明らかな方
4） その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した方

＜接種要注意者＞

1） 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方
2） 過去に予防接種で接種後 2 日以内に発熱、全身性の発疹などのアレルギーを疑う症状がみられた方
3） 過去にけいれんの既往がある方
4） 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方、または近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
5） 間質性肺炎、気管支喘息などの呼吸器系の病気がある方
6） 薬の服用または食事（鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のもの）でアレルギー症状を呈するおそれのある方
7） 妊婦または妊娠している可能性のある方

＜予防接種を受けた後は以下の点に注意してください＞

1） 接種当日は過激な運動は避けてください。なお、接種当日の入浴は差支えありません。
2） 接種後は、副反応が生じる可能性があります。気になる症状がみられた際は、病院での診察をうけてください。まれにアナフィラキシーなど重篤な副反応が生じる可能性があります。緊急性を要する場合は、速やかに病院での診察をうけてください。